

東京電力から提出された事前了解願いに対する確認状況

令和 4 年 3 月 2 4 日
福島県原子力安全対策課

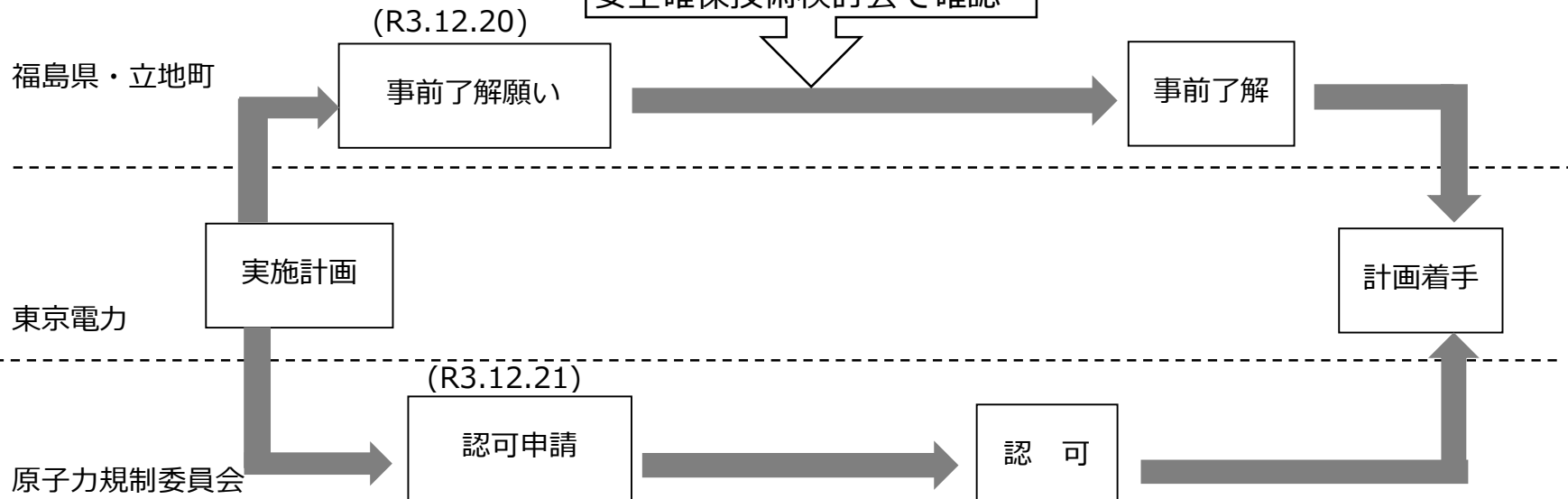
実施計画変更の手続き

安全確保協定

東京電力は、実施計画の変更を伴う施設等の新增設、変更又は廃止をしようとするときは、事前に福島県及び立地町の了解を得るものとする。

(R3.12.27 ~現在)

廃炉安全監視協議会・
安全確保技術検討会で確認



原子炉等規制法

「特定原子力施設に関する保安又は特定燃料核物質の防護のための措置を実施するための計画」を変更しようとするときは、原子力規制委員会の認可を受けなければならない。

これまで県と市町村が確認を行ってきた会議の開催状況について

令和3年12月27日 廃炉安全監視協議会

令和4年 1月19日 環境モニタリング評価部会

1月24日 廃炉安全監視協議会（現地調査）

2月 4日 安全確保技術検討会

2月24日 安全確保技術検討会

2月25日 環境モニタリング評価部会

3月 8日 環境モニタリング評価部会

3月15日 安全確保技術検討会

多核種除去設備処理水希釈放出設備に係る主要な確認事項

① 処理途上水の確実な二次処理

- 希釈放出設備運用の前提となる処理途上水の二次処理が確実に実施されるのか。

② 希釈・放出管理

- 設備の運転、監視を適切に行い、基準値を満足した水だけを放出する仕組みができているか。
- 異常発生を確実に検知し、計画外の放出に発展させない仕組みとなっているか。

③ 不具合発生時の対応

- 機器の故障等によりALPS処理水が海洋へ放出される異常が発生した場合の対応（対処に必要な設備、体制、手順）及び環境影響評価は適切か。

多核種除去設備処理水希釈放出設備に係る主要な確認事項

④ 自然災害への対応

- 想定される災害に対する備えは十分か。
- 自然災害に起因したトラブル及びその対応シナリオが十分に検討されているか。

⑤ 処理水及び放出水測定信頼性

- 試料の採取を適切な場所、タイミング、方法で行う計画となっているか。
- 試料は、信頼性のある方法で測定されるのか。

⑥ 敷地境界の実効線量評価等

- 評価の前提条件、評価条件、算出プロセスが適切か。
- 放出基準の算出根拠と安全評価上の意味。

多核種除去設備処理水希釈放出設備に係る主要な確認事項

⑦設備・機器の保守・管理

- 設備・機器の重要性を考慮した保全計画（予防保全、事後保全の適切な使い分け等）が立てられているか。
- 長期間の運用を見据えた保守管理が計画されているか。
- トラブルを未然に防ぐ有効な点検が計画されているか。

⑧工事の安全な実施

- 短い工期が想定される中、安全最優先の工事計画となっているか。
- 特に海域での作業に伴う災害への備えは十分か。

⑨測定結果等の公表

- 関係者の安心に繋がる適切な公表方法が計画されているか。
- 異常時の公表についての基本的な考えが整理されているか。

多核種除去設備処理水希釈放出設備に係る主要な確認事項

⑩設備機器の詳細設計

- 設備機器の位置、構造、材質、インターロックの設定等が適切か。

⑪体制・保安品質マネジメント

- トップの関与を含め、計画を実行するための体制、保安品質マネジメントは適切か。
- 特に不適合発生防止について、東京電力と協力企業が一体となり取り組んでいるか。

⑫海洋放出に係る放射線影響評価結果

- 放出に係る人及び環境への放射線影響が適切に評価されているか。